

## 解答

- 一
- 問一 自分の服装よりも二人が厚着だったり薄着だったりしていたから。
- 問二 a 快不快 b 採〔用〕 c 〔花〕弁 d 回〔帰〕 e 私〔見〕  
なみなみ
- 問三 セーターを着たナナと半袖のイチとの中間の長袖に半袖という服装をしているということ。
- 問四 1 ア 2 ウ
- 問五 1 ア 2 ウ
- 問六 (1) 人工的に管理され行儀よく過ごすのではなく、自然の中で開放的に暮らし、自由に生活を楽しむ存在。  
(2) 人工都市
- 問七 団地に住む一軒一軒の家庭が、トラブルなく円満で幸福に暮らしていること。
- 問八 団地それぞれに差異を生じさせ、その価値に応じた評価を過度に行うということ。
- 問九 衣服

## 二

- 問一 a ように b ような c ようだっ
- 問二 エ
- 問三 よくあんな
- 問四 A むやみやたらに B たくさん C ほぼ全部
- 問五 娯楽施設の全くない街で、唯一、日常生活を忘れて、さまざまなものに触れ楽しめた場所。
- 問六 ア・イ・エ
- 問七 イ
- 問八 自我にもまだ目覚めず、アイデンティティもわからなかったが、どのような人間にもなれる可能性があったということ。
- 問九 二十五年前と変わらぬ一本の大きな樺の木は、昔の街を懐かしみたい筆者にとって、変わり果てた現在の街から少年の頃の街の記憶をよみがえらせるきっかけであるということ。
- 問十 古いが自然の豊かな美しい街並みを残すより、新しい人工物で埋め尽くすことに価値があるとする時代。
- 問十一 七歳の年末に祖父母の家に行ったとき、何年かに一度の大雪が降った。朝、一面の静かな雪景色を目の当たりにして言葉を失った。まさに非日常的でその瞬間だけの自然の優美さを味わえる時間であった。

## 三

- (6) (1) ○ (2) ○ (3) ○ (4) ○ (5) しょうじ
- (7) おうちやく
- (8) けわ
- (9) ほか
- (10) したて